

わたしたちにとって文化遺産とは

アメニティ・アカデミーの2014年度のセミナーは「わたしたちにとって文化遺産とは」をテーマにかかげ、上期は講義で学んできましたが、下期は見学会をおこないます。年内はまず三つの町を訪問します。**滋賀県近江八幡**はヴォーリズの活動の本拠地（10月11日）。**栃木県益子**は陶芸家濱田庄司の活動拠点で陶芸の町（11月8日）。**宝塚市雲雀丘花屋敷**は大正期に開発された住宅地で往時の邸宅が数多く残っている町（12月13日）。いずれもわたしたちにとって大切な文化遺産を受けついでいる町です。

11月～陶芸の町・益子

栃木県益子は日本の民芸運動をリードした一人濱田庄司の本拠地で、陶芸の里として有名です。現在では歴史ある建物と若いアーティストたちが共存する町でもあります。また日下田藍染工房は創業200年以上、茅葺屋根の建物に藍甕がならぶ姿は壮観です。2012年アメニティ2000協会は東日本大震災で被害を受けた益子参考館の復興支援のため「陶芸即売会」をしました。このご縁のできた益子を訪問し、今につたわるその姿を見学しましょう。陶芸作品の買い物もお楽しみに。

月日 2014年11月8日（土）

集合 12時 JR宇都宮駅東口出入り口
 見学先 濱田庄司記念益子参考館（濱田友緒館長の案内）
 益子陶芸美術館（解説つき）
 日下田藍染工房（栃木県指定文化財・工房を見学）
 昼食 日下田邸（会員の日下田宗弥さんの実家）で「峠の釜めし」（釜飯の器は益子焼です）
 解散 午後6時 JR宇都宮駅
 参加費 会員7000円 一般7500円 上期セミナー全納者6500円
 （各施設の入館料・チャーターバス代・昼食代込み）
 定員 25名



益子参考館・濱田庄司別邸

* 関西方面からご参加で当日移動の方には 次の新幹線が便利です。

8:10 新大阪発 のぞみ112号 10:43 東京着
 11:00 東京発 やまびこ135号（東北新幹線） 11:49 宇都宮着



藍甕がならぶ日下田藍染工房

★濱田庄司 日本を代表する陶芸家。柳崇悦、河井寛次郎、バーナード・リーチと親交があり、日本の民芸運動の旗手の一人として活躍。益子に工房をかまえてシンプルな造形と自在な釉薬の扱いで数々の作品を生み出した。文化勲章受章、人間国宝。

★益子参考館

濱田庄司が1973年に没するまで約50年生活し、制作した場所。彼が県内外から移築した古い農家や蔵などが広い敷地にゆったりと配置されている。

問合せ・申し込み 特定非営利活動法人アメニティ2000協会
 （事務局 西宮市北昭和町3-20 清水）
 TEL・FAX 0798-65-4303 携帯 080-3138-4164